



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 サイボ一株式会社

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,209	3.6	314	3.6	409	△1.3	271	14.4
27年3月期第1四半期	2,132	3.9	303	7.3	415	23.6	236	29.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 332百万円 (△6.6%) 27年3月期第1四半期 355百万円 (131.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	20.32	20.29
27年3月期第1四半期	17.81	17.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	27,725	15,638	50.7
27年3月期	28,350	15,399	48.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 14,061百万円 27年3月期 13,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	4,087	1.2	533	2.3	623	△14.0	377	△11.3
通期	8,341	4.5	1,119	6.5	1,306	△4.9	795	0.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	14,000,000 株	27年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	665,509 株	27年3月期	665,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	13,334,491 株	27年3月期1Q	13,296,542 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出企業の高業績や株式市況の堅調な推移を背景に、国内景気は緩やかな回復基調を続けております。個人消費においては、雇用や所得環境の改善による消費マインドの持ち直しが見られたものの、物価の上昇や個人所得の水準が小幅な改善にとどまる中、景気の先行きは依然として不透明な状況が続くと思われまます。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業がさらなる円安の進行、中国経済の成長鈍化、国内消費の緩慢な回復状況の影響を受けて、引き続き厳しい状況となりました。

一方、収益の柱であります不動産活用事業は、二つのショッピングセンターのさらなる集客力の強化をはかり、新しく病院施設の賃貸事業を今年秋には開始して、収入の安定化を進めております。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 繊維事業

マテリアル課の原糸販売は、さらなる円安の進行により輸入ポリエステル糸のコストが上昇し、一部商品の価格競争力が低下し、販売量が減少したものの、生地販売の増加により増収となりました。

アパレル課は、景気回復基調から、法人ユニフォームやスポーツ関連商品の売上は堅調に推移して大幅な増収となりました。

カジュアル課の縫製品関係は、自社ブランドのメンズカジュアル商品の百貨店販売は、6月の父の日ギフトが伸び悩むなど前年に比べて低調で、減収となりました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、刺繍レースファッションの自社企画商品の販売が増えて増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は11億79百万円(前年同期比8.6%増)となり、営業損失は前年同期に比べ8百万円増加して15百万円となりました。

② 不動産活用事業

「イオンモール川口前川」は、近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」の利便性と、専門店のブランド力などがお客様に高く評価され、「イオンモール川口」は、開設から31年経つものの地元近隣のお客様を中心に支持を得て、二つの大型商業施設を主とする不動産活用事業は、引き続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は6億25百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は2億96百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、子供や女性のゴルフ教室の人气が続いており、夜間の団体・企業対象のゴルフレッスン会等を実施して、全体の入場者、売上高ともに前年に比べて増加いたしました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は2億36百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は35百万円(前年同期比160.9%増)となりました。

④ その他の事業

当社のギフト事業部営業課の葬祭返礼品販売は、施行規模の小口化や家族葬が増えて減収となりました。ディアグリーン課の緑化事業は景気回復の背景から、主力の観葉植物のレンタル事業の維持は出来たものの、商品販売が減少して僅かな減収となりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般先の工事受注が減少し減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は1億67百万円(前年同期比9.7%減)、営業利益は1百万円(前年同期比52.2%減)となりました。

以上の結果、当社グループ売上高は、22億9百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は3億14百万円(前年同期比3.6%増)、経常利益は4億9百万円(前年同期比1.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億71百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、川口神根地区再開発及び賃貸目的の病院建設に伴う有形固定資産の増加や、株価上昇による投資有価証券の増加があった一方、現金及び預金の減少、減価償却が進んだことによる有形固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ6億24百万円減少して277億25百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済、未払法人税等の支払い及び未払債務の減少等により前連結会計年度末に比べ8億62百万円減少して120億87百万円となりました。純資産は、前期末の配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ2億38百万円増加して156億38百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ9億96百万円減少して29億26百万円となりました。

営業活動により得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ2億円減少して2億3百万円となりました。これは主に売上債権やたな卸資産が増加したこと等によるものです。

投資活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ13億9百万円増加して9億71百万円となりました。これは主に有価証券の売却による収入が減少したことや有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ5億47百万円増加して2億27百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,305,311	3,289,838
受取手形及び売掛金	811,922	947,349
有価証券	219,332	215,673
商品及び製品	855,991	934,759
仕掛品	13,488	7,588
原材料及び貯蔵品	61,419	58,091
その他	297,615	255,215
貸倒引当金	△832	△945
流動資産合計	6,564,248	5,707,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,274,167	9,246,574
土地	5,519,950	5,557,920
その他(純額)	2,034,664	2,130,856
有形固定資産合計	16,828,782	16,935,352
無形固定資産	17,421	16,371
投資その他の資産		
投資有価証券	4,402,471	4,554,630
その他	561,825	536,101
貸倒引当金	△24,574	△24,397
投資その他の資産合計	4,939,722	5,066,334
固定資産合計	21,785,926	22,018,058
資産合計	28,350,174	27,725,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,266	588,095
1年内返済予定の長期借入金	421,008	421,008
未払法人税等	167,269	65,887
賞与引当金	56,703	29,433
役員賞与引当金	4,700	1,480
その他	1,759,767	1,089,724
流動負債合計	2,928,715	2,195,628
固定負債		
長期借入金	1,843,237	1,737,985
役員退職慰労引当金	223,838	216,602
退職給付に係る負債	138,568	138,470
長期預り保証金	7,092,646	7,101,279
その他	723,250	697,621
固定負債合計	10,021,540	9,891,958
負債合計	12,950,256	12,087,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	868,184	868,184
利益剰余金	11,316,833	11,496,890
自己株式	△379,153	△379,153
株主資本合計	13,207,863	13,387,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	660,966	691,542
繰延ヘッジ損益	△10,386	△8,821
退職給付に係る調整累計額	△10,416	△9,607
その他の包括利益累計額合計	640,162	673,114
新株予約権	25,007	24,454
非支配株主持分	1,526,884	1,552,552
純資産合計	15,399,918	15,638,042
負債純資産合計	28,350,174	27,725,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,132,416	2,209,138
売上原価	1,443,385	1,497,451
売上総利益	689,030	711,687
販売費及び一般管理費	385,047	396,718
営業利益	303,982	314,968
営業外収益		
受取利息	8,286	3,676
受取配当金	61,288	70,808
持分法による投資利益	23,227	31,588
その他	48,619	18,553
営業外収益合計	141,422	124,627
営業外費用		
支払利息	18,020	17,149
デリバティブ評価損	9,722	8,865
その他	2,311	3,667
営業外費用合計	30,054	29,682
経常利益	415,350	409,912
特別利益		
負ののれん発生益	24,930	-
新株予約権戻入益	1,269	1,131
特別利益合計	26,199	1,131
特別損失		
固定資産除却損	68,006	-
固定資産売却損	-	17,169
特別損失合計	68,006	17,169
税金等調整前四半期純利益	373,544	393,874
法人税、住民税及び事業税	63,807	78,068
法人税等調整額	34,550	18,066
法人税等合計	98,358	96,135
四半期純利益	275,185	297,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,340	26,725
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,845	271,013

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	275,185	297,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,482	34,032
繰延ヘッジ損益	1,791	1,565
持分法適用会社に対する持分相当額	6,277	△972
その他の包括利益合計	80,552	34,625
四半期包括利益	355,738	332,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,526	303,965
非支配株主に係る四半期包括利益	41,211	28,399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	373,544	393,874
減価償却費	143,408	138,095
負ののれん発生益	△24,930	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△150	△64
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,940	△27,269
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,675	△3,220
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,664	△98
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,616	△7,235
受取利息及び受取配当金	△69,575	△74,485
支払利息	18,020	17,149
持分法による投資損益 (△は益)	△23,227	△31,588
有価証券運用損益 (△は益)	△8,783	2,278
売上債権の増減額 (△は増加)	125,253	△135,426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,692	△69,540
仕入債務の増減額 (△は減少)	77,265	68,828
その他	20,070	48,401
小計	603,020	319,699
利息及び配当金の受取額	74,177	77,185
利息の支払額	△17,848	△16,977
法人税等の支払額	△256,246	△176,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,102	203,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△30,000	-
有価証券の売却による収入	680,000	19,619
有形固定資産の取得による支出	△42,306	△949,893
有形固定資産の売却による収入	-	181
投資有価証券の取得による支出	△300,811	△220,273
投資有価証券の売却による収入	30,000	132,023
定期預金の増減額 (△は増加)	48,078	18,836
貸付金の回収による収入	20,210	210
その他	△67,887	27,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	337,282	△971,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	210,000	110,000
短期借入金の返済による支出	△210,000	△110,000
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	△52,500	△105,252
配当金の支払額	△90,655	△90,956
非支配株主への配当金の支払額	△2,852	△2,732
その他	△34,723	△28,945
財務活動によるキャッシュ・フロー	319,269	△227,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,059,654	△996,627
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	113,561	-
現金及び現金同等物の期首残高	2,219,472	3,923,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,392,689	2,926,518

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,086,333	629,339	230,853	1,946,526	185,890	2,132,416	—	2,132,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	66,751	—	68,851	68,317	137,168	△137,168	—
計	1,088,433	696,090	230,853	2,015,377	254,207	2,269,584	△137,168	2,132,416
セグメント利益 又は損失(△)	△6,653	298,221	13,591	305,159	2,930	308,090	△4,107	303,982

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

連結子会社である埼玉興業(株)が自己株式を取得したことにより、前第1四半期連結累計期間において、負ののれん発生益24,930千円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,179,883	625,182	236,128	2,041,193	167,944	2,209,138	—	2,209,138
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,117	66,751	—	68,868	38,547	107,416	△107,416	—
計	1,182,000	691,933	236,128	2,110,062	206,492	2,316,554	△107,416	2,209,138
セグメント利益 又は損失(△)	△15,495	296,437	35,460	316,403	1,400	317,803	△2,835	314,968

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、保有する不動産のさらなる有効活用をはかり、経営判断の迅速化を目的として、事業セグメントの区分方法を見直し、「商業施設賃貸事業」に前連結会計年度まで「その他の事業」に含まれていた「その他の賃貸事業」、「ビルメンテナンス事業」を加え、新たに「不動産活用事業」としております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成した情報を記載しております。